



2023年10月4日

各位

H I F G l o b a l
E N E O S 株式会社

合成燃料の協業に関する覚書の締結について

～日本におけるカーボンニュートラル燃料の普及促進を共同検討～

合成燃料を製造する世界大手のグローバル企業である [H I F G l o b a l](#) と E N E O S は、合成燃料の協業に関する覚書を締結し、日本におけるカーボンニュートラル燃料の普及促進を共同検討することをお知らせします。

本覚書のもと、H I F G l o b a l は、同社が有する南米、米国、豪州の製造拠点から、日本最大の石油精製会社である E N E O S へ合成燃料を供給します。合成燃料は、再生可能エネルギーを動力源とする電解槽を使用し、水を酸素と水素に分離して得られる水素を用いて製造されます。このグリーン水素とカーボンリサイクルされた CO_2 とを使用して製造される合成燃料は、現在使用されている燃料と化学的に同等であり、既存のエンジンでの使用が可能です。H I F G l o b a l は世界各地の拠点で日量15万バレルの合成燃料を製造予定です。

また、本覚書は、日本での CO_2 サプライチェーンの確立や、H I F G l o b a l の製造拠点で製造した合成メタノールを合成ガソリンやジェット燃料に変換するための製造拠点を日本で建設する可能性を検討することも含んでいます。

<H I F G l o b a l CEO セサル・ノートン (C e s a r N o r t o n) 氏コメント>

このたびの契約は、世界最大かつ最も発展している市場における、合成燃料への意欲を明確に示すものです。当社はすでに、チリのマガジャネス州にある H a r u O n i の実証試験設備で合成燃料を製造しており、来年には商業規模として初となる合成燃料製造拠点をテキサス州マタゴルダ郡で着工予定です。当社のプロジェクト・ポートフォリオは拡大を続けており、H I F の南米、米国、豪州にある全拠点が膨大な需要を満たすことに寄与するものと確信しています。運輸セクターの脱炭素化に向けた世界的な取り組みを支援するために、世界で必要とされるペースでこの新たな産業を発展させることを目指し、E N E O S と緊密に連携していけることを楽しみにしております。

<ENEOS 須永常務執行役員コメント>

当社は、ENEOSグループの2040年長期ビジョンの下、「エネルギー・素材の安定供給」と「カーボンニュートラル社会の実現」との両立に向けて挑戦しています。これらの目標を達成するために、当社は、水素や再生可能エネルギーの活用を推進し、合成燃料などのカーボンニュートラル燃料の事業開発を進めることで、温室効果ガス排出量を削減するためのさまざまな取り組みを行ってきました。今回のHIF Globalとの協業は、エネルギートランジションを主導する基盤となり、カーボンニュートラル社会における日本でのエネルギー供給の継続につながるものと考えています。

<HIF Global概要>

HIF Globalは、低コストの再生可能エネルギーを使用して水素をカーボンニュートラルな液体合成燃料に変換するプロジェクトを推進している、世界大手のグローバル企業です。この液体合成燃料は、既存のインフラを活用し、輸送・使用が可能です。HIFという社名は、地球の脱炭素化を可能にする為の「Highly Innovative Fuel（極めて革新的な燃料）」を提供するという企業理念を表しています。HIF Latam、HIF USA、HIF Asia Pacific、HIF EMEAは、HIF Globalの100%子会社です。HIF Globalは、チリのマガジャネス州にあるHaru Oniの実証試験設備で合成燃料を製造しており、2024年にはテキサス州で商業規模の合成燃料製造拠点であるHIF Matagordaの着工を予定しています。更に、2022年7月には、HIF Globalにとって豪州初となる、タスマニア州での製造拠点建設を発表しています。詳細は、www.hifglobal.comをご覧ください。

<ENEOS概要>

日本最大の石油精製企業であるENEOSグループは、世界中に製造拠点と販売拠点を有しており、エネルギーと非鉄金属の両事業領域において、上流から下流にわたるビジネスを展開しています。

ENEOSグループは、「エネルギー・素材の安定供給」という責任を、今も将来も果たしながら、エネルギーのトランジションによって、「カーボンニュートラル社会の実現」に努めます。人類にとって大きなチャレンジでもあるこの課題を、私たちENEOSグループは着実に成し遂げていくことで、企業価値の最大化を図っていきます。詳細は、<https://www.eneos.co.jp/>をご覧ください。

以上

< E N E O S 本 社 訪 問 時 の 写 真 >



左から (敬称略)

HIF Asia Pacific 最高経営責任者 Ignacio Hernandez

HIF Global 専務理事 Meg Gentle

E N E O S 株 式 会 社 常 務 執 行 役 員 須 永 耕 太 郎

HIF USA 最高経営責任者 Renato Pereira

E N E O S 株 式 会 社 執 行 役 員 水 素 事 業 推 進 部 長 田 中 秀 明

E N E O S 株 式 会 社 プ ロ ジ ェ ク ト サ ー ビ ス 部 長 立 川 徹

将来予想に関する記述についての注意事項

本プレスリリースに記載されている情報には、米国連邦証券法の意味の範囲内での将来予想に関する記述として、さまざまな記述が含まれています。歴史的事実の記述を除くすべての記述は、将来予想に関する記述であるか、将来予想に関する記述と見なされる場合があります。「可能性がある」、「見通しである」、「見込みである」、「予定である」などの文言および類似の表現は、将来予想に関する記述であることを明確にするために使用されており、将来の事象や結果の不確実性を表すものです。本プレスリリースにおける将来予想に関する記述は、とりわけHIFの合成燃料拠点に関する時期やその他の側面に関連するものを含む、当社の予定・戦略・目的の期待事項に関するものです。このような記述は、経営陣の現在の期待事項および想定に基づいており、既知および未知のリスクや不確実性の影響を受けるため、実際の結果または事象は、将来予想に関する記述における明示的または暗示的な期待事項と大幅に異なる場合があります。将来予想に関する記述で述べられている結果または事象が実際の結果または事象と大幅に異なる要因には、HIF合成燃料拠点の建設および開発に必要な許可を適時に取得または維持する当社の能力、業務上の目的を適時かつ適切に実行する当社の能

力、立法・政策・財政・規制の動向、商業的交渉の結果、資金調達における当社の能力、消費者の嗜好または需要、ならびに当社の事業に影響を及ぼす経済・事業・競争に関する多様な要因が含まれますが、これらに限定されません。本プレスリリースに含まれる将来予想に関する記述はすべて、本パラグラフに含まれる注意事項または本パラグラフで言及する注意事項によって、その全体が明示的に限定されます。H I F G l o b a l は、本プレスリリースに記載の注意事項を慎重に見直して検討されることを強く推奨します。また、本プレスリリースの作成日時点で述べられているに過ぎない将来予想に関する記述に過度に依拠しないようご注意ください。H I F G l o b a l は、新しい情報、将来の事象、またはその他の結果にかかわらず、将来予想に関する記述を更新する一切の義務を負わず、かかる義務を明示的に放棄します。

<問い合わせ先>

H I F G l o b a l、イアン・ローレンス (I a n L a w r e n c e)

ian.lawrence@hifglobal.com

+ 6 1 4 5 9 1 8 2 3 6 6

E N E O S 株式会社 広報部

pr@eneos.com

+ 8 1 - 3 - 6 2 5 7 - 7 1 5 0